

重要文化財 臨春閣

いよいよ工事完了！

保存修理事業



全園完成 100 周年・重要文化財 臨春閣 令和の大修理完了記念 特別公開

今秋公開予定！



うしな おも
失われたと思われていた

はらさんけい じだい いこう はっくつ
原三溪時代の遺構を発掘！



たいしんほきょう こうじ おこな くっさくさぎょう げんかんとう ないぶ ちか いこう はっくつ
耐震補強工事のために行われた掘削作業により、玄関棟内部の地下から遺構が発掘されました。

はらさんけい た りんしゅんかくげんかんとう ゆかめん せんごふっきゅうこうじ さい きろく そんざい う む
これは原三溪が建てた臨春閣玄関棟※の床面だったもので、戦後復旧工事の際の記録に存在の有無
きじゆつ な うしな おも
について記述が無かったことから失われてしまっていたと思われていました。

りんしゅんかく おおさか はっしゅうけん いちく こうせい たてもの たてもの いちぶ さんけいえん いちく さい ふか げんかんとう しょせつ
※臨春閣は大阪にあった「八州軒」を移築し構成された建物ですが、建物の一部は三溪園移築の際に付加されました。玄関棟は諸説あ
るものの原三溪による新築とされ、重要文化財に指定されていない部分です。戦後復旧時には戦災による破壊が著しかったことから、
ぶんかざい しゅうり おこな あらた た なお
文化財としての修理を行わず、新たに建て直されました。

こんかい こうじ ともな はっけん いこう か ち きちよう たいせつ まも つた
今回工事に伴い発見されたこの遺構は、価値ある貴重なものとして大切にこれからも守り伝えてい
きます。2022 年秋に予定されているお披露目の際の公開で、ぜひご覧いただきたいと思ひます。